



# 営農NEWS



## ピーマンの主な病害虫の防除対策

ピーマン栽培では、黄化えそ病、モザイク病、うどんこ病、斑点病、灰色かび病、疫病などの病害、アザミウマ類、コナジラミ類、アブラムシ類、タバコガ類、ハダニ類、センチュウ類などの害虫が発生します。

特に、アザミウマ類は黄化えそ病を媒介し、アブラムシ類は各種モザイク病を媒介しますので、十分な注意が必要です。病害虫発生予報11月号（病害虫防除所）によると、促成ピーマン栽培でコナジラミ類の発生量が平年より多く、ハダニ類はやや多いと予測されています。病害虫が多発生すると防除が困難になるので、少発生うちに防除を徹底して下さい。なお、天敵昆虫を導入している圃場では、薬剤の天敵への影響を、メーカーや関係機関から必ず指導を受けてください。

### 1 アザミウマ類、コナジラミ類、ハダニ類、アブラムシ類【防除のポイント】

- 1) ハウス内外の雑草(害虫類の飛来源、各種ウイルスの保毒源)を、常に除去しておきます。
- 2) ハウスの側窓や天窓など開口部には、防虫ネットを張っておきます。さらに、ハウス内に黄色や青色の粘着シートを設置すると、微小害虫が誘殺されて生息密度を抑制し、また、防除時期の目安になります。
- 3) 薬剤散布は、整枝剪定の後など薬液が生息場所にかかりやすくなったときに、株全体へ丁寧に散布します。
- 4) 薬剤散布後には防除効果を確認し、抵抗性害虫を抑制するため、分類の異なる薬剤でローテーション防除します。

表1 ピーマンのアザミウマ類、コナジラミ類、ハダニ類、アブラムシ類の主な防除薬剤（令和3年11月9日現在）

対象害虫				薬剤名	希釈倍率	使用時期／使用回数	分類
アザミウマ類	コナジラミ類	ハダニ類	アブラムシ類				
○ミナミ	○		○	ベストガード粒剤	1~2g/株 植穴処理土壌混和	定植時／1回	4A
○	○	○	○	モベントフロアブル	2,000倍	収穫前日まで／3回以内	23
○	○	○		アグリメック	500~1,000倍	収穫前日まで／3回以内	6
○	○	○		グレーシア乳剤	2,000倍	収穫前日まで／2回以内	30
○ミカン、ミナミ		○		コテツフロアブル	2,000倍	収穫前日まで／2回以内	13
○				ディアナSC	2,500~5,000倍	収穫前日まで／2回以内	5
	○				2,500倍		
○	○		○	モスピラン顆粒水溶剤	4,000倍	収穫前日まで／2回以内	4A
	○	○		コロマイト乳剤	1,000倍	収穫前日まで／2回以内	6
	○		○	コルト顆粒水和剤	4,000倍	収穫前日まで／2回以内	9B
		○		カネマイトフロアブル	1,000倍	収穫前日まで／1回	20B
		○		マイトコーネフロアブル	1,000倍	収穫前日まで／1回	20D

注1) 対象害虫アザミウマ類の欄で、ミカンはミカンキイロアザミウマ、ミナミはミナミキイロアザミウマを略しました。

注2) 分類欄には、IRACコードを記載しました。同一分類（コード）は作用点が同じなので、連用は避けてください。

### 2 うどんこ病、斑点病【防除のポイント】

- 1) 施設内の通風、採光を良好にするため適正な整枝剪定を行い、換気を適切に行って適度な温湿度の圃場環境を保ちます。なお、梅雨期や秋の長雨など施設内が多湿や日照不足になる時期には、薬剤の予防散布に努めます。
- 2) 発病葉や被害落葉は伝染源になりますので、丁寧に圃場外に持ち出し、適切に処分します。
- 3) 薬剤散布後には防除効果を確認し、耐性菌の発生を抑制するため、分類の異なる薬剤でローテーション防除します。

表2 ピーマンうどんこ病、斑点病の主な防除薬剤（令和3年11月9日現在）

薬剤名	うどんこ病	斑点病	希釈倍率	使用時期／使用回数	分類
シグナムWDG	○	○	2,000倍	収穫前日まで／2回以内	7と11
ラリー水和剤	○	○	4,000~6,000倍	収穫前日まで／4回以内	3
カスミンボルドー	○	○	1,000倍	収穫前日まで／5回以内	24とM1
ダコニール1000	○	○	1,000倍	収穫前日まで／3回以内	M5
パンチョTF顆粒水和剤	○		2,000倍	収穫前日まで／2回以内	3とU6
パレード20フロアブル	○		2,000~4,000倍	収穫前日まで／3回以内	7
モレスタン水和剤	○		2,000~3,000倍	収穫前日まで／3回以内	M10

注1) 分類欄には、FRACコードを記載しました（コードが2つは混合剤）。同一分類（コード）は作用点が同じなので、連用は避けてください。

※ 表2の他に、硫黄粒剤のくん煙処理があります。この場合は専用の電気加熱式くん煙器を利用してください。

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。

※ JA全農いばらきホームページでもご覧になれます。



農機営農支援部 営農支援課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040